

慶應義塾大学
文学部人文社会学科

要 覧

2023 年版

図書館・情報学系 図書館・情報学専攻
大学院文学研究科 図書館・情報学専攻

e-mail: slis-info@ml.keio.jp

<http://web.flet.keio.ac.jp/slis/>

目次

はやわかり図書館・情報学	1
図書館・情報学専攻とは	2
略史	2

学部 学士課程

大学院 修士課程・後期博士課程

位置づけ	4	位置づけ	22
年次報告	5	年次報告	23
教員	6	教員	24
学生数	8	大学院生数	25
カリキュラム		カリキュラム	
コース	9	図書館・情報学分野の概要	26
専門科目	9	情報資源管理分野の概要	26
ゼミ(研究法と研究会)	10	修士論文	27
卒業論文	11	博士論文	27
取得できる資格	12	設置科目の目的と授業内容	
インターンシップと卒業後の進路	13	修士課程(図書館・情報学分野)	28
設置科目の目的と授業内容		修士課程(情報資源管理分野)	29
必修科目	14	後期博士課程	30
選択科目	14	修士論文題目	31
卒業論文題目	17	博士論文題目	32
入学の方法	18	入学の方法	33
特別学生(科目等履修生・特別聴講生)	20	特別学生(科目等履修生・研究生)	35

共通

奨学金	36
2023年度時間割	38

はやわかり図書館・情報学

【図書館・情報学って何？】

人間や社会の経験・知識を伝達するための現象、技術、制度を学びます
古典籍から電子書籍、インターネットまで、人類のあらゆる知的資源が対象です
日本で専門的に学べる大学はあまりありません。慶應はこの学問のパイオニアです

【カリキュラムの特徴】

2年生は全員が必修科目を学び、3年からは3コースに分かれ、より専門的に学びます
全員が3年の秋学期からゼミ(研究法と研究会)に所属して、卒業論文の指導を受けます
文献やコンピュータだけでなく、人との触れ合いの中から学ぶことが求められます
司書資格を取得できます。3年生の夏休みに各種の図書館でインターンシップを行います

【3年生からの3コース】

A. 図書館コース

図書館や情報提供機関のサービスと運営を中心に、社会において知識と情報を活用するための仕組みについて全体的な理解を目指します。

B. 情報メディアコース

情報は情報メディアを通して生産、流通、利用されるという観点から、社会的制度、技術特性、人間の認知を踏まえながら、情報メディアが社会で果たす役割の理解を目指します。

C. 情報管理コース

広く情報管理を目的とする、情報処理、データ解析、情報アクセス・提供サービス、情報検索、情報組織化などの基本的な考え方と技術・技法の理解・習得を目指します。

【卒業後の進路】

図書館・情報学専攻を卒業してからの進路としては、国立国会図書館や大学図書館など各種の図書館やシンクタンク等の情報サービス業、新聞社などのマスコミ、出版社などの出版流通関係、SE/システムインテグレータやコンピュータ・ソフト関連の情報通信産業、企業の一般事務・営業職等があげられます。国立大学法人や地方公務員の採用試験を図書館・情報学で受けることもできます。従来から文学部の中では就職に恵まれていました。また、大学院への進学も大いに奨励されています。

WEB もチェック！

URL を入力するか、「図書館・情報学専攻」で検索

<http://web.flet.keio.ac.jp/slisl/>

図書館・情報学専攻とは

図書館・情報学は、日本ではまだ限られた大学でしか開講されていない学問分野です。図書館・情報学は、人間や社会の経験や知識を記録し、伝達し、利用する一連の過程、そこにみられる現象、あるいは技術、制度を研究対象としています。

本専攻は、昭和26(1951)年に「図書館学科」として始まり、昭和43(1968)年に「図書館・情報学科」と改称しましたが、いずれも日本で初めて開設された学科です。平成12(2000)年の文学部学科改組とともに、人文社会学科図書館・情報学系図書館・情報学専攻となりました。

本専攻で取りあげるのは、古代の記録から紙、さらに電子書籍やインターネットなどの最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、これらの情報メディアに蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには、情報メディアの収集、提供、保存のための社会的な制度である図書館をはじめとする情報システムであり、それらを様々な観点から取り扱います。

図書館・情報学専攻の教育目標は「情報の視点から問題を発見して解決できる総合的な能力の習得」にあります。また、大学院では、(1)高度な情報専門家の養成と社会人の再教育、(2)図書館・情報学研究者の養成、をその目的として掲げ、特に(2)に関しては課程博士の育成に力を注いでいます。

卒業生は大学院を含め現在までに2,500名を数え、図書館や情報関連の分野をはじめとし、幅広い分野で活躍しています。卒業生組織として「SLIS 三田会」があります。

また、図書館・情報学研究の面では「三田図書館・情報学会」の母体となっています。

略史

図書館学(Library Science)の研究教育を目的として、Japan Library Schoolの名称で日本最初の図書館学科が昭和26(1951)年春に、慶應義塾大学文学部内に開設されました。当初、米国図書館協会から専門的援助を受け、海外からRobert L. Gitler博士をはじめとする訪問教授を招いて発足しました。その後、学科の運営が軌道にのり、順調な発展を示すに従って訪問教授は減り、昭和31(1956)年には全員が日本人教員となりました。昭和41(1966)年には創立15年を迎え、これを機会として図書館学の発展に対応した研究教育体制とするために、翌昭和42(1967)年度から情報学に重点を置いた大学院修士課程「図書館・情報学専攻」を開設しました。さらに、学部課程のカリキュラムを改訂し、学科の名称を「図書館・情報学科」と改めました。そして、より高度の研究者、教育者、専門職を育成するために、図書館・情報学博士課程を昭和50(1975)年4月に開設しました。

この後、何度かのカリキュラム改訂を経て、平成5(1993)年からは、図書館、情報メディア、情報検索の三つの(サブ)コースを導入した新しいカリキュラムを実施に移して現在に至っています。

平成13(2001)年には創立50周年を迎え、祝賀式典と祝賀会を行いました。

平成16(2004)年4月には、大学院修士課程に、図書館員を中心とした情報関連専門家の再教育を目的とした「情報資源管理分野」を新しく設けました。

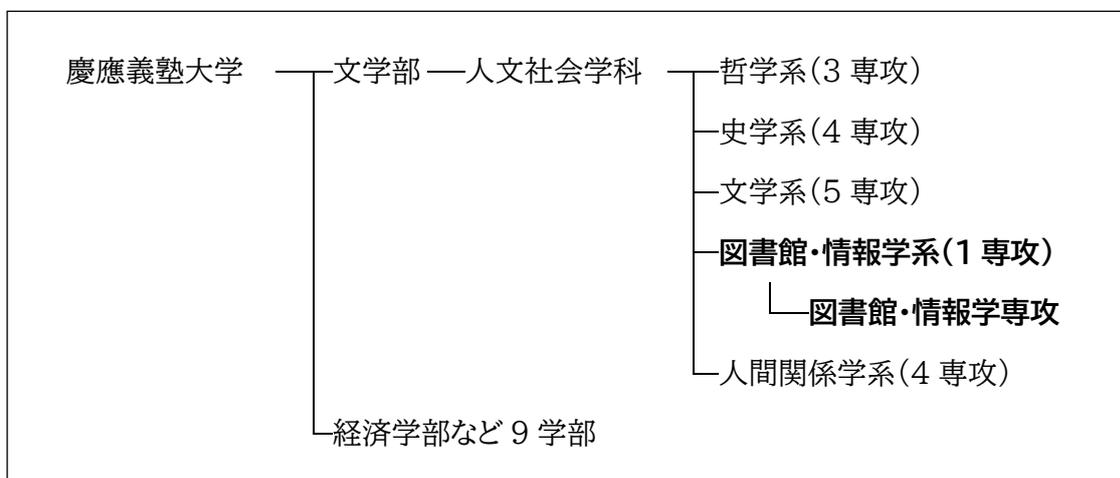
平成31(2019)年4月の3年生より、情報検索コースの名称を情報管理コースに変更しました。

学士課程

学士課程

学部における図書館・情報学専攻の位置づけ

図書館・情報学専攻は、慶應義塾大学文学部人文社会学科図書館・情報学系に属しています。この学系は1専攻のみから構成されています。



文学部では、第1学年を日吉キャンパスで学び、第2学年からは三田キャンパスで各専攻に属することになっています。第2学年では図書館・情報学の基礎となる必修科目を全員が履修しますが、第3学年の春学期からは、幅広い学問領域に対応するために、**図書館、情報メディア、情報管理**の3コースに分かれます。卒業論文は必修で、ゼミに所属して卒業論文を書きます。なお、ゼミ(研究法と研究会)は第3学年の秋学期から始まります。図書館・情報学専攻の最大受入数は60名です。

2022 年度年次報告

■ 学生数

2年 68名
 3年 56名
 4年 30名 (2022年4月1日現在)

■ 学年暦

2022年	4月1日	専攻別ガイダンス 3年生コース発表	
	4月7日	春学期授業開始	
	7月5日	3年生ゼミ発表	
	7月～9月	インターンシップ(図書館実習)	実習機関 10機関 実習者 12名
	9月16日	4年生卒業論文中間発表	
	10月1日	秋学期授業開始	
	10月25日	4年生卒業論文執筆要綱説明会	
	12月10日	1年生に対する専攻説明会	
	12月13～23日	卒業論文提出	オンライン提出
	2023年	1月24日	2年生コース説明会
1月31日		4年生卒業論文面接	
2月3日・6日		文学部2年編入試験	
2月6日		文学部学士入学試験	
2月15日		文学部入学試験	
3月10日		卒業発表	
3月11日		ギトラー賞授与式	
	3月23日	卒業式	卒業生 24名

教員

■ 専任教員

倉田敬子 文学部教授 文学部長 **情報メディアコース**

情報が生産される過程を情報メディアの形成という観点から研究しています。現在は、学術コミュニケーションにおける情報メディアの特性、特に紙からデジタルへの変化に関心を持っています。

- ◇ 担当科目: 情報メディア概説, 学術情報メディア論
- ◇ e-mail: kei.kurata@keio.jp

谷口祥一 文学部教授 **情報管理コース**

情報組織化, 情報資源組織化という領域に取り組み, 情報資源とそれに包含された情報・知識に対する効果的・効率的な管理・検索・統合などを目指しています。実際には, メタデータ(書誌データ等を含む)の作成・管理・活用を始めとして, 分類法, 統制語彙(オントロジー), 検索(検索技術)などに関心を持っています。

- ◇ 担当科目: 情報管理基礎Ⅱ(B), 情報資源組織論, データベース論, 社会科学特論Ⅱ(図書館・情報学)
- ◇ e-mail: taniguchi@z2.keio.jp

岸田和明 文学部教授 専攻担任 **情報管理コース**

情報検索の理論・技術全般に関心を持ち, 特に, 統計学的方法によって検索性能の向上を目指す研究を行っています。また, 検索実験の方法論や, 文書の自動的な分類・クラスタリングについても興味を持っています。

- ◇ 担当科目: 図書館・情報学概説, 情報管理基礎Ⅰ, 情報検索概説Ⅰ, データ解析論, 情報処理技術, 図書館・情報学研究調査入門, 図書館・情報学研究法(C), 図書館・情報学研究会Ⅰ・Ⅱ(A)
- ◇ e-mail: kz_kishida@keio.jp

池谷のぞみ 文学部教授 専攻担任 **情報メディアコース**

種々の組織や集団に関わる人々が, 活動のなかで行う知識や情報のマネジメントやそのしくみのデザインに関わる問題を中心に研究しています。エスノメソドロジーという学際的に参照されているアプローチをとり, しばしばエスノグラフィ(フィールドワークの一種)の手法を使う調査を通じて, 対人サービス(例: 医療領域, 図書館)や, 種々の仕事における協働作業(例: IT デザイン)の実践における知識の創出, 共有, 体系化(知識のマネジメント)とそのしくみのデザインに関する考察を行っています。

- ◇ 担当科目: 情報メディア基礎Ⅱ(C), 社会情報論, 情報行動, 情報サービス概説, 図書館・情報学研究法(B), 図書館・情報学研究会Ⅰ・Ⅱ(C)
- ◇ e-mail: nozomi.ikeya@keio.jp

安形麻理 文学部教授 専攻担任 文学部運営委員 **情報メディアコース**

写本から印刷本, 電子書籍に至るまで, 書物とそれを取り巻くものに広く関心があります。書物と人の関わり方や, 読書の歴史, 西洋の初期印刷本を中心とする書物の物理的な特徴についての研究を行っています。また, 資料保存や, デジタルアーカイブ, 書物のデジタル化, デジタル技術を書誌学に応用することにも興味を持っています。

- ◇ 担当科目: 図書館・情報学文献研究Ⅰ・Ⅱ(C), 印刷メディア, 図書館・情報学研究調査

入門, 情報メディア基礎 I, 書誌学 II (西洋), 図書館・情報学研究法 (A), デジタル書物学 I・II, 文献学の世界

◇ e-mail: agatamari@keio.jp

松本直樹 文学部准教授 専攻担任 文学部図書委員長 **図書館コース**

公立図書館の制度・経営を中心に研究しています。特に、外部環境との相互作用の中で公立図書館がどのように事業を形成しているかを、行政学等、学際的アプローチを使って明らかにしてきました。得られた知見をもとに、コミュニティの知の拠点としての図書館のあり方を探っていきたくと考えています。

◇ 担当科目: 公共図書館論, 図書館基礎 I, 図書館の制度と経営, 図書館実習 I・II, 図書館・情報学研究法 (D), 図書館・情報学研究会 I・II (B)

◇ e-mail: matsumoton@keio.jp

福島幸宏 文学部准教授 (有期) **情報管理コース**

MLA 連携やデジタルアーカイブを対象に、知識情報基盤の形成やその実際の運用について関心を持っています。デジタルコンテンツを使いこなすこと、ユニーク資料を確実に把握するという使命を果たすことで、MLA は社会全体の要請に応えられるようになって考えています。

◇ 担当科目: 図書館基礎 II, 情報管理基礎 II (B), デジタルアーカイブ論, 基礎情報処理 (C)(D)(H), 応用情報処理 III, レポートの書き方

◇ e-mail: fukusima-y@keio.jp

宮田洋輔 文学部助教 専攻担任 **情報管理コース**

図書館情報学分野について研究しています。現在は、図書館情報学分野を事例として、学問分野が形成されていく過程に量的・質的両方のアプローチから取り組んでいます。メディアの利用やウェブに関する共同研究にも参加しています。

◇ 担当科目: 情報管理基礎 II (A), 図書館・情報学文献研究 I・II (A), 図書館実習 I・II, 基礎情報処理 (M)

◇ e-mail: miyayo@keio.jp

■ 非常勤講師

岩瀬梓 ◇情報管理基礎 II (C)

一戸渉 慶應義塾大学 ◇書誌学 I

上岡真紀子 帝京大学 ◇情報メディア基礎 II (B)

河西由美子 鶴見大学 ◇情報メディア利用論, 読書教育論

鎌田和宏 帝京大学 ◇学習指導と学校図書館

神崎正英 ゼノン・リミテッド・パートナーズ ◇ウェブ情報論

國本千裕 千葉大学 ◇情報メディア基礎 II (A)

小林昌樹 ◇情報サービス概説

小山憲司 中央大学 ◇大学図書館論

学士課程

酒井由紀子	帝京大学◇レポートの書き方
汐崎順子	◇児童サービス論, 子どもの本と読書
須賀千絵	実践女子大学◇図書館・情報学文献研究 I・II (B)
高橋慈子	株式会社ハーティネス◇情報と職業
中島玲子	◇図書館・情報学(通信教育)
中山美由紀	◇学校図書館論
野口武悟	専修大学◇学校経営と学校図書館, 学校図書館メディア論
松林麻実子	筑波大学◇情報認識の基礎

■ 2023 年度学生数

2 年	65 名	
3 年	62 名	
4 年	56 名	(2023 年 4 月 1 日現在)

カリキュラム

第2学年は全員が必修科目を、第3学年からは決めたコース毎に専門科目を選択します。なお、2018年度より新カリキュラムに移行しています。

■ コース

第3学年の最初にどのコースに所属するかを決めます。原則として、希望するコースに進むことができます。なお、毎年1月に、第2学年の学生に対してコースの説明会を行っています。

A. 図書館コース

図書館や情報提供機関のサービスと運営を中心に、社会において知識と情報を活用するための仕組みについて全体的な理解を目指します。

B. 情報メディアコース

情報は情報メディアを通して生産、流通、利用されるという観点から、社会的制度、技術特性、人間の認知を踏まえながら、情報メディアが社会で果たす役割の理解を目指します。

C. 情報管理コース

広く情報管理を目的とする、情報処理、データ解析、情報アクセス・提供サービス、情報検索、情報組織化などの基本的な考え方と技術・技法の理解・習得を目指します。

■ 専門科目

図書館・情報学専攻の専門科目は次のような構成となっています。

┌	必修科目(第2学年基礎科目, 第3学年「図書館・情報学概説」, 研究法, 第4学年研究会, 卒業試験)	(22 単位)
	└ 指定選択科目	(18 単位)
	└ コース必修科目	(8 単位以上)
	└ コース選択科目	(24 単位以上)
└	選択科目(図書館・情報学専攻以外の設置科目)	(24 単位以上)

□ 第2学年

第2学年に履修する専門科目は、全員に共通の必修の基礎科目です。これらは各コースに対応した基礎科目群、および「図書館・情報学文献研究」から構成されています。各科目2単位を取得できます。

┌	図書館基礎 I	——	図書館基礎 II
┌	情報メディア基礎 I	——	情報メディア基礎 II
┌	情報管理基礎 I	——	情報管理基礎 II
┌	図書館・情報学文献研究 I	——	図書館・情報学文献研究 II

第2学年から第3学年に進学するためには(進級条件科目)、第2学年で修得しなければならない必修科目8科目16単位のうち6科目以上を修得する必要があります。

学士課程

□ 第3・第4学年

第3学年の年度初めのガイダンスで、三つのコースから一つのコースを選び、コースで定められた科目を履修します。全員共通の「図書館・情報学概説」および「図書館・情報学研究法」に加え、各コースの「コース必修科目」18単位、「コース選択科目」8単位以上を修得する必要があります。

【図書館コース】

コース必修科目(18単位)

図書館の制度と経営	情報メディア概説	情報資源組織論
情報検索概説Ⅰ	図書館・情報学研究調査入門	公共図書館論
大学図書館論	情報サービス概説	生涯学習概論(全専攻共通科目)

選択科目(8単位以上)

図書館実習Ⅰ・Ⅱ	児童サービス論	学校図書館論
情報認識の基礎	データ解析論	書誌学Ⅰ・Ⅱ
図書館・情報学特殊Ⅰ～Ⅲ	情報検索概説Ⅱ	

および、図書館コース以外のコース必修科目

【情報メディアコース】

コース必修科目(18単位)

図書館の制度と経営	情報メディア概説	情報資源組織論
情報検索概説Ⅰ	図書館・情報学研究調査入門	印刷メディア
学術情報メディア論	社会情報論	ウェブ情報論

選択科目(8単位以上)

図書館実習Ⅰ・Ⅱ	児童サービス論	学校図書館論
情報認識の基礎	データ解析論	書誌学Ⅰ・Ⅱ
図書館・情報学特殊Ⅰ～Ⅲ	情報検索概説Ⅱ	

および、情報メディアコース以外のコース必修科目

【情報管理コース】

コース必修科目(18単位)

図書館の制度と経営	情報メディア概説	情報資源組織論
情報検索概説Ⅰ	図書館・情報学研究調査入門	情報行動
情報処理技術	データベース論	デジタルアーカイブ論

選択科目(8単位以上)

図書館実習Ⅰ・Ⅱ	児童サービス論	学校図書館論
情報認識の基礎	データ解析論	書誌学Ⅰ・Ⅱ
図書館・情報学特殊Ⅰ～Ⅲ	情報検索概説Ⅱ	

および、情報管理コース以外のコース必修科目

■ ゼミ(図書館・情報学研究法と図書館・情報学研究会)

いわゆる「ゼミ」は第3学年の後半(秋学期)から始まります。第3学年の科目名は「図書館・情報学研究法」で、全員が春学期に同じ科目を履修申請します。実際は各担当者が別個

に授業を行い、第4学年のそれぞれの研究会へ継続します。春学期末(6月末)にどの教員の研究会を選択するか志望票を提出して、その志望票に基づいて秋学期以後の研究法と研究会が決定されます。ただし、教員一人当たりの担当学生数には上限が定められており、希望通りにならない場合があります。

第4学年の図書館・情報学研究会(A~H)は、担当の教員別の科目を履修申告します。

■ 卒業論文

図書館・情報学専攻では全学生に卒業論文の提出を義務づけています。第4学年の図書館・情報学研究会が卒業論文指導にあてられ、卒業試験は卒業論文の審査をもって代えられます。

卒業論文を提出しなかったり、中間発表会や面接に欠席したりすると卒業できません。中間発表会から卒業発表までの例年の主なスケジュールは以下のとおりです。

9月中旬	卒業論文中間発表会
10月末~11月	卒業論文執筆要綱説明会
12月23日※	卒業論文提出締切
1月下旬	卒業論文面接
3月初旬	卒業発表

※23日が土日祝日の場合は、その前日

学士課程

取得できる資格

■ 司書資格

司書資格の取得を希望する者は、以下の(1)(2)の両方の科目を修得した上で、図書館・情報学専攻を卒業する必要があります。

(1) 以下のすべての科目

図書館の制度と経営
児童サービス論

情報資源組織論
情報サービス概説

図書館実習 I・II
生涯学習概論

(2) 以下の中から2科目以上

公共図書館論

大学図書館論

学校図書館論

■ 司書教諭資格

司書教諭資格の取得を希望する場合は、教諭免許取得に必要な科目に加えて、教職課程センターに設置された必要な科目を履修する必要があります。

インターンシップと卒業後の進路

■ インターンシップ

図書館・情報学専攻では、創設時から 60 年以上にわたって夏休みに図書館で実務経験を得るためのインターンシップを行ってきました。現在、図書館コースの「図書館実習」がインターンシップに該当する科目です。この科目は、図書館コースの他、司書資格を得ようとする学生が履修できます。原則として第 3 学年の夏休みの二週間、大学図書館、公共図書館、専門図書館、学校図書館で実務を学びます。

2022年度にこのインターンシップにご協力下さったのは以下の10 機関です。

- 浦安市立中央図書館
- 慶應義塾大学 信濃町メディアセンター
- 慶應義塾大学 日吉メディアセンター
- 慶應義塾大学 三田メディアセンター
- 慶應義塾大学 理工学メディアセンター
- 東京大学附属図書館
- 東京都立中央図書館
- 日本貿易振興機構 アジア経済研究所図書館
- 明治大学図書館
- 横浜市中心図書館

■ 卒業後の進路

図書館・情報学専攻を卒業してからの進路としては、国立国会図書館や大学図書館など各種の図書館やシンクタンク等の情報サービス業、新聞社などのマスコミ、出版社などの出版流通関係、SE/システムインテグレータやコンピュータ・ソフト関連の情報通信産業、企業の一般事務職・営業職等があげられます。国立大学法人や地方公務員の採用試験を図書館・情報学で受けることもできます。従来から文学部の中では就職に恵まれていました。また、大学院への進学も大いに奨励されています。

設置科目の目的と授業内容

■ 必修科目

図書館・情報学文献研究

図書館・情報学分野の英語文献の講読を通じた専門用語、概念、最新の動向、研究の状況についての知識の習得。

図書館基礎Ⅰ

現代社会における図書館情報サービス、情報提供機関の必要性、意義、利用者の立場からみた各種の情報サービス形態。

図書館基礎Ⅱ

図書館で提供される情報サービスの基礎的考察：情報サービス実現のための要素、情報資源、専門職、施設・設備、業務の諸原則。

情報メディア基礎Ⅰ

図書、新聞、雑誌、デジタルメディア等の各種メディアの技術特性、生産・流通プロセス、社会的機能。

情報メディア基礎Ⅱ

各種メディアの検索方法の修得：資料組織化、検索ツールの概説とデータベース等を用いた検索の演習。

情報管理基礎Ⅰ

情報検索の基礎知識の習得：情報検索システムの事例の紹介、情報検索における蓄積過程、検索の仕組み、データベースの探索。図書館目録を含む。

情報管理基礎Ⅱ

コンピュータの基本操作と倫理の習熟：各種アプリケーションソフトウェアを用いた演習、インターネットの各種サービスの利用、ホームページの作成の実習等を通じて、情報の検索・入手・加工・提示など情報管理の基礎を学ぶ。

図書館・情報学概説

図書館情報学分野の主な研究領域の紹介、実社会におけるこの領域の知識とスキルの展開、図書館情報学の歴史。

図書館・情報学研究法

第3学年の研究指導。

図書館・情報学研究会 A～H

第4学年の卒業論文指導。

■ 選択科目

印刷メディア

印刷メディア：紙と印刷、出版産業の歴史と出版文化、出版流通機構、ブックデザイン、タイポグラフィ、読書。

ウェブ情報論

WWWの基礎から発展の方向、コンピュータ処理を念頭に置いたウェブデータの記述方法とその応用、Linked Dataと図書館の関わりなど。

学術情報メディア論

学術コミュニケーション：研究活動と学術情報の特性、学術コミュニケーションの機能、電子ジャーナル、オープンアクセス、研究データとオープンサイエンス。

学校図書館論

学校図書館活動の意義：教授学習過程と学校図書館、教育情報システムとしてのメディアセンター、学校図書館の機能と運営。

公共図書館論

公共図書館活動の意義:公共図書館の制度,理念,役割および児童サービス,障害者サービス,多文化サービス等の各種サービス,著作権など。

社会情報論

社会とメディア:社会における知識と情報の配分を担う組織やしくみの構成要素としてのメディアの成立と発展。

生涯学習概論[全専攻共通科目]

教育および生涯学習の原理と意義,生涯学習を实践する上で必要不可欠な関連法規,生涯学習の行財政・施策についての基礎的知識。

児童サービス論

児童資料の特徴,公立図書館の児童サービスに必要な知識と技能。

情報検索概説 I

情報検索システムの原理,仕組み,実際:図書館 OPAC や各種データベース検索システムからインターネットのサーチエンジンまでを対象とする,その機能・構成・評価法,および情報検索の発展的応用としての情報アクセス技術。

情報検索概説 II

情報技術を中心とした情報検索,情報提供。

情報行動

課題とその解決という観点からみた情報探索の諸問題:情報要求,情報源の探索・利用,要求の社会的文脈,情報源の選択と探索,仲介者の役割。

情報サービス概説

レファレンス・サービスを中心とした情報サービスの理解:レファレンス・サービスの意義と内容,レファレンス情報源の選択と組織化,レファレンスプロセス,参考質問とその処理(含演習),情報リテラシー・サービス。

情報資源組織論

情報資源の組織化の理論と技術:図書館等における情報資源組織化を構成する書誌記述法(目録法),主題分析・表現法(分類法,統制語彙),それらを適用したメタデータの作成と流通の実態など。

情報処理技術

Java 言語によるプログラミングを通じてのテキスト処理。画像の処理,統計的なデータ処理。

情報認識の基礎

人間と情報現象の認識論的,存在論的な考え方の理解:記号論,社会学,哲学などの議論からみた情報,情報メディア,記号表現。

情報メディア概説

情報と情報メディア,情報メディアの歴史の変遷,情報メディアの特性とその影響。

書誌学 I

日本・中国の古典籍の特性と整理方法。

書誌学 II

西洋の古典籍を対象とした分析書誌学,批判書誌学の基礎。

大学図書館論

学術情報支援サービスとそのシステム:研究教育と大学図書館,大学図書館のサービス,運営管理,動向と将来。

データ解析論

データマイニングおよびテキストマイニングの諸手法。機械学習やクラスタリング,テキスト処理の技法を含む。

データベース論

学士課程

データベース構築の理論, 技術, 活用。リレーショナルデータベースの理論と実際 (概念設計, 論理設計から運用まで), XML によるデータ表現と管理。

デジタルアーカイブ論

本, ウェブ, 映像などの各種のデジタルアーカイブについての概説と, 資料のデジタル化, データ処理, メタデータ付与, データベース作成の演習。

図書館実習 I・II

夏休みに行う 2 週間のインターンシップ。実習先は, 塾内メディアセンターや幼稚舎の図書室, それに他大学の大学図書館や公共図書館や専門図書館。

図書館・情報学研究調査入門

図書館・情報学分野の研究調査を実施する際に必要となる基礎知識。研究計画の策定, データ収集法, 統計的分析法, 内容分析の方法を含む。

図書館の制度と経営

図書館の関連法規, 図書館政策, 経営管理活動, 経営資源, サービス計画, 予算の確保, 調査と評価, 管理形態。

2022年度卒業論文題目

執筆者氏名	研究会	卒業論文題目
岩井公佑	池谷	ステーションの運用と利用にみる移動図書館の役割
梅主ひより	池谷	公共図書館におけるボードゲームサービスの意義と課題
太田帆南	松本	公共図書館における LGBTQ に関連する情報の提供
大屋杏名	池谷	大学図書館員による情報リテラシー教育のデザインと運営の実践：慶應義塾大学三田メディアセンターの事例から
岡田思惟	池谷	和刻蘭書・長崎版の印刷における技術的特徴
河合慶真	松本	プログラミングのイメージとコンピューショナル・シンキングとの関連性
菅野有紗	岸田	出版社間の関係を析出するための多次元尺度構成法
黄瑞喜	岸田	アニメ作品のレビューに対する観点別での自動分類
小松玲衣	松本	公共図書館におけるマンガの実態調査：収集方針と所蔵の現状から
斎藤佳昭	池谷	女性議員に関する新聞記事の変遷：衆議院議員選挙が行われた年における全国紙の分析
佐藤祐久	岸田	YouTube 動画の「炎上」パターンの自動識別：コメントの分類に基dyいて
鈴木開	松本	公共図書館におけるネットワーク環境および ICT 機器の提供
孫賢旭	松本	私立大学図書館のバリアフリーとユニバーサルデザイン
多久功太郎	池谷	コロナ禍における留学生の学生生活に関する課題とその対処
張伊貝茜	松本	プログラムの提供の場としての図書館：東京都区部の公立図書館における実施状況
寺本琉聖	岸田	ツイートに基づく楽曲の感情分析を応用した情報推薦
中村可奈	池谷	地域に「ゆかりの作家」を通して市民と地域文化との接点を創り出す文化施設や組織の連携
中村里菜	岸田	ツイートをを用いた感情表現分析によるドラマの視聴率予測
鳩山広起	松本	映画レビューサイトにおける共感の要因
朴慧善	池谷	新聞記事における「女子力」の取り上げ方の変遷
ホウウラン	岸田	ニュース記事におけるメディアバイアスの自動検出

学士課程

入学の方法

図書館・情報学専攻で学ぶためには慶應義塾大学文学部に入学する必要があります。文学部では、塾内進学のために、次の入試制度により学生を受け入れています。

略称	制度名	入試時期
一般入試	一般入学試験	2月
推薦入試(自主応募)	自主応募制による推薦入学者制度	11月
帰国生入試	帰国生対象入学試験	9月
留学生入試	外国人留学生試験	1月
2編入試	第2学年編入試験	2月
学士入試	学士入学試験	2月

■ 一般入学試験

1月下旬に出願を受け、2月15日頃に入学試験を行い、合格発表は2月25日頃というのが通常の日程です。試験科目は以下の3科目です。

- 外国語 英語(コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)・ドイツ語・フランス語・中国語のうち1科目選択
- 地理歴史 世界史B, 日本史Bのうち1科目選択
- 小論文 資料を与えて、理解と表現の能力を総合的に問う

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/examinations/general-admissions/>

■ 自主応募制による推薦入学制度

11月初めに受付けています。「調査書」、「評価書」、「自己推薦書」、「総合考査Ⅰ」、「総合考査Ⅱ」により選考を行います。総合考査(小論文形式)は例年、11月下旬に行われています。合格発表は11月末です。

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/examinations/recommendation-self/>

■ 帰国生対象入学試験

国の内外を問わず通常の学校教育課程12年以上を修め、かつ海外において外国の教育課程に基づく高等学校に最終学年を含め2年以上継続して在籍し卒業(見込み)である場合などの条件を満たすと、帰国生入試を受けることができます。

出願の受付は7月で、9月上旬に面接試験があり、9月中旬に合格発表が行われています。

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/examinations/japanese-returnees/>

■ 外国人留学生対象入学試験

日本以外の国において、当該国の学校教育制度に基づく中学校および高等学校の課程を修了した者等に外国人留学生対象入学試験を行っています。出願の受付は10月から11月初めにかけてで、1月に書類、面接および日本語作文によって選考が行われます。

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/examinations/international-students/>

この他に、慶應義塾大学在籍学生と卒業生は、第 2 学年編入学試験と学士入学試験によって、図書館・情報学専攻に入ることができます。

■ 第2学年編入学試験

文学部を除く慶應義塾大学在籍の第 1 学年修了者(または見込みの者)で、かつ入学後 1 年以上在籍見込みの学生で総合教育科目に関する要件を満たしている者は、第 2 学年編入学試験を受験して文学部に転部することができます。毎年1月上旬に出願を受け、2 月上旬に試験、合格発表が行われています。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/career/placement/trans.html>

■ 学士入学試験

慶應義塾大学学部および慶應義塾大学通信課程卒業生(見込みを含む)は、学士入学試験を受験できます。毎年 1 月上旬に出願を受け、2 月上旬に試験、合格発表が行われています。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/career/placement/bachelor.html>

⇒入学試験の詳細は下記に問い合わせ下さい。

慶應義塾大学 入学センター

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

TEL: 03-5427-1566(直通)

受付時間 月～金(祝祭日を除く) 9:00～11:30, 12:30～16:30

※ただし開校記念日(4/23)・夏季休業・冬季休業・福澤先生誕生記念日(1/10)は閉室

<http://www.admissions.keio.ac.jp/>

学士課程

特別学生

また、正規の学生としてではなく、特別学生(科目等履修生, 特別聴講生)として図書館・情報学専攻の科目の履修・聴講ができます。

■ 学部 科目等履修生

10 単位(5 科目)までの単位の修得を目的として履修する, 科目等履修生を受け入れることがあります。毎年, 春学期は 2 月下旬~3 月に, 秋学期は 8 月下旬~9 月上旬に出願を受け付けています。履修した科目の試験を受け, 合格すれば単位と成績を修得することができます。

■ 学部 特別聴講生

10 単位(5 科目)まで, 単位の修得を目的とせず聴講する, 特別聴講生を受け入れることができます。毎年, 春学期は 2 月下旬~3 月に, 秋学期は 8 月下旬~9 月上旬に出願を受け付けています。聴講科目の試験を受けることはできず, 単位と成績は修得できません。

⇒科目等履修生と特別聴講生については下記に問い合わせして下さい。

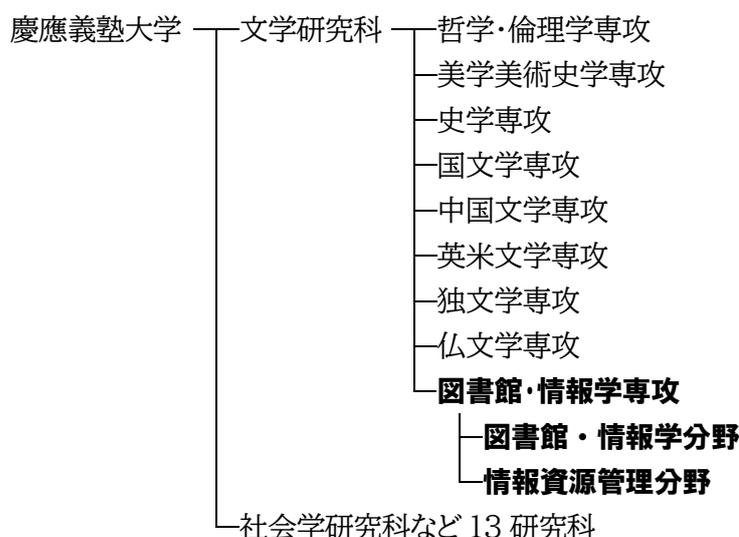
慶應義塾大学 学生部文学部係
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
TEL: 03-5427-1555(直通)
受付時間 月~金(祝祭日を除く) 8:45~16:45
※ただし開校記念日(4/23)・夏季休業・冬季休業・福澤先生誕生記念日(1/10)は閉室
<https://www.students.keio.ac.jp/com/other/non-degree/index.html>

**修士課程・
後期博士課程**

大学院における図書館・情報学専攻の位置づけ

図書館・情報学専攻は、図書館・情報学の研究の発展と、高度な情報関連の専門家の養成を目的として、昭和 42(1967)年に慶應義塾大学文学研究科修士課程として設置されました。さらに、研究者の育成のために、後期博士課程が昭和 50(1975)年 4 月に開設されました。

図書館・情報学専攻は、慶應義塾大学文学研究科に属しています。2004 年度からは、修士課程に情報資源管理分野を設け、修士課程の1学年の定員は 20 名となりました。2006 年度からは、後期博士課程について、定員は 5 名のままでありますが昼夜開講としました。



■ 情報資源管理分野の新設(2004 年)

新しく設置された「情報資源管理分野」は、図書館員を中心とした情報関連専門家の再教育を目的としています。これは、大学院における専門職教育を求める機運の高まり、従来からの図書館現職者の再教育の必要性といった、社会的な要請に応えることを目指しています。特に要望の強い最新の情報技術、図書館や情報センターの運営などの知識を学ぶ機会を設け、現職者と教員との討議を通じて問題解決能力の向上を図ります。

この分野の定員は1学年 10 名で、いわゆる学術大学院の枠組みのもとで設置され、修了に必要なとされる単位数、修士論文の要件、学位(「修士(図書館・情報学)」)はこれまでと同じです。なお、授業は夜間と土曜日に開講しています。

修士課程・後期博士課程

2022 年度年次報告

■ 大学院生数

修士課程	図書館・情報学分野	1年	0名	(2022年4月1日現在)
		2年	3名	
	情報資源管理分野	1年	5名	
		2年	5名	
博士課程		1年	2名	
		2年	2名	
		3年	3名	

■ 学年暦

2022年	4月	4日	大学院入学式 大学院ガイダンス		
	4月	7日	春学期授業開始		
	6月	6日	第2回修士論文中間発表会 (図書館・情報学分野)(情報資源管理分野)		
	7月	18日	GSLIS 研究フォーラム		
	9月	13・15日	修士課程入学試験	図書館・情報学分野 0名合格 情報資源管理分野 2名合格	
	9月	21日	情報資源管理分野アドバイザリコミッティ評価委員会		
	10月	1日	秋学期授業開始		
	10月	10日	第3回修士論文中間発表会 (図書館・情報学分野)(情報資源管理分野)		
	11月	28日	第4回修士論文中間発表会(題目提出前面接)		
	12月	10日	大学院説明会(図書館・情報学分野, 情報資源管理分野)		
	2023年	1月	24~31日	修士論文提出(オンライン)	
		2月	4日	第1回修士論文中間発表会(図書館・情報学分野, 情報資源管理分野)	
2月		23日	修士論文面接		
2月		24・27日	後期博士課程・修士課程入学試験	後期博士課程 1名合格 修士図書館・情報学分野 0名合格 修士情報資源管理分野 1名合格	
3月		11日	小林賞授賞式		
3月		28日	学位授与式		
			修士課程修了者	図書館・情報学分野 2名 情報資源管理分野 3名	
			博士課程	博士号取得者 0名 単位取得退学者 1名	

教員

■ 専任教員と担当科目

各教員の関心領域については p. 6-8 をご覧ください。

倉田敬子 文学部教授 文学研究科委員

◇担当科目:情報メディア特殊講義Ⅰ・Ⅱ, 情報メディア特殊講義演習ⅠA・ⅡA, ◇情報資源管理特殊講義ⅩⅠ, 情報資源管理特殊講義演習ⅠE・ⅡE, ◇情報学特殊研究Ⅰ・Ⅱ, 情報メディア特殊研究Ⅰ・Ⅱ

谷口祥一 文学部教授 文学研究科委員

◇担当科目: 情報検索特殊講義Ⅲ・Ⅳ, 情報検索特殊講義演習ⅠA・ⅡA◇情報資源管理特殊講義Ⅸ, 情報資源管理特殊講義演習ⅠD・ⅡD◇情報検索特殊研究Ⅰ・Ⅱ, 情報システム特殊研究Ⅲ・Ⅳ

岸田和明 文学部教授 文学研究科委員長補佐 文学研究科委員

◇担当科目:情報検索特殊講義Ⅰ・Ⅱ, 情報検索特殊講義演習ⅠB・ⅡB, 調査研究法Ⅰ◇情報資源管理特殊講義Ⅲ, 情報資源管理特殊講義ⅩⅢ, 情報資源管理特殊講義演習ⅠA・ⅡA, ◇情報検索特殊研究Ⅲ・Ⅳ, 情報検索特殊研究Ⅴ・Ⅵ

池谷のぞみ 文学部教授 文学研究科委員 文学研究科学習指導

◇担当科目:情報メディア特殊講義Ⅲ・Ⅳ, 情報メディア特殊講義演習ⅠB・ⅡB◇情報資源管理特殊講義演習ⅠB・ⅡB, 情報資源管理特殊講義Ⅶ◇情報メディア特殊研究Ⅲ・Ⅳ, 情報メディア特殊研究Ⅴ・Ⅵ

安形麻理 文学部教授 文学研究科委員

◇担当科目:情報学特殊講義Ⅲ・Ⅳ, 情報学特殊講義演習Ⅰ・Ⅱ, 情報分析論Ⅰ・Ⅱ◇情報資源管理特殊講義演習ⅠC・ⅡC, 情報資源管理特殊講義Ⅴ◇情報システム特殊研究Ⅰ・Ⅱ, 情報学特殊研究Ⅲ・Ⅳ, 情報システム特殊研究Ⅴ, Ⅵ◇人文学研究の方法論Ⅱ(デジタル・ヒューマニティーズ)

松本直樹 文学部准教授

◇担当科目:情報分析論Ⅰ・Ⅱ◇情報資源管理特殊講義Ⅰ, 情報資源管理特殊講義演習Ⅲ・Ⅳ, ◇情報学特殊研究Ⅲ・Ⅳ, 情報学特殊研究Ⅶ・Ⅷ

■ 非常勤講師

安形輝 亜細亜大学◇情報資源管理特殊講義ⅩⅦ

池内淳 筑波大学◇調査研究法Ⅱ◇情報資源管理特殊講義ⅩⅤ

江藤正己 学習院女子大学◇情報資源管理特殊講義Ⅶ

修士課程・後期博士課程

■ 大学院生数

修士課程	図書館・情報学分野	1年	0名
		2年	1名
博士課程	情報資源管理分野	1年	3名
		2年	5名
		1年	1名
		2年	4名
		3年	2名

(2023年4月1日現在)

カリキュラム

■ 図書館・情報学分野の概要

大学院のカリキュラムは、修士課程開設以来、情報システム、情報メディア、情報検索(情報処理)を大きな柱として構成されてきました。

修士課程の第1学年には、約 40 単位ほど開講されている科目群の中から自由に選択できます。ただし、修士論文指導科目(科目名が「・講義演習」となっている科目)と、研究論文紹介とその検討を行う抄読会(「情報分析論Ⅰ,Ⅱ」)は必修科目です。また、指導教授の許可により他の専攻等で開講されている科目を履修することもできます。

大学院学則では、32 単位を取得した後に、指導教授の指導のもとで、修士論文を執筆することができるようになっています。修士課程の第 2 学年には、修士論文を執筆します。

博士課程では、指導教授の指導のもとで、博士論文執筆のための研究を行います。博士論文を提出し学位を取得するか、毎年、4 単位ずつ、3 年間に 12 単位を修得すれば、課程を終えることとなります(単位取得退学)。

なお、2006 年度から大学院の後期博士課程を昼夜開講としました。これにより夜間に開講される科目のみを履修して博士課程を終えることができるようになりました。

■ 情報資源管理分野の概要

2004 年度から設けられた情報資源管理分野は、図書館運営とそれに必要な情報技術、最近の図書館における動向を中心とした実務者に向けたカリキュラムとなっています。図書館の種類は限定していませんが、公共図書館と大学図書館については専門的な科目を設けています。

修士論文指導科目(情報資源管理特殊講義演習Ⅰ,Ⅱ)と、研究論文紹介とその検討を行う抄読会(情報資源管理特殊講義演習Ⅲ,Ⅳ)が必修科目です。

大学院学則では、32 単位を取得した後に、指導教授の指導のもとで、修士論文を執筆することができるようになっています。修士課程の第 2 学年には、修士論文を執筆します。

なお、図書館・情報学分野に属する場合は情報資源管理分野の科目を 4 科目 8 単位まで、また、情報資源管理分野に属する場合は図書館・情報学分野の科目を 4 科目 8 単位まで、それぞれ履修できます。

修士課程・後期博士課程

■ 修士論文

修士課程では修士論文を提出し合格することが修了の要件となっています。修士論文の作成にあたっては、3 回にわたる全大学院生と全教員が参加する中間発表会でその進展状況を発表することになっています。毎年、11 月に修士論文の題目を、1 月末日までに論文を、学生部に提出します。2 月下旬に修士論文面接があり、合否が決まります。

■ 博士論文(学位請求論文)

博士課程の目的は、研究に基づき博士論文を提出し、学位を得ることにあります。文学研究科では博士課程に入学後、6 年間に学位請求論文(課程博士)を提出した場合には、課程による博士としての審査を受けることができます。

また、博士課程に入学後、6 年以上を経過した場合、あるいは当専攻の博士課程に在籍したことがない場合には、規程に従い、学位請求論文(論文博士)を提出し、論文博士としての審査を受けることができます。

図書館・情報学専攻では課程博士および論文博士のそれぞれについて「博士学位請求論文の申請および審査に関する内規」が、文学研究科のサイトにおいて公開されています。

<https://www.gsl.keio.ac.jp/academics/library-and-information-science/index.html>

設置科目の目的と授業内容

単位数は全科目 2 単位です。

■ 修士課程:図書館・情報学分野

情報学特殊講義Ⅰ

日本社会で図書館をめぐる状況について歴史文化論的に考察する。題材を図書館情報学史、書物史、メディア史、教育史といったところに求める。

情報学特殊講義Ⅱ

国際的な教育、文化、専門職のコンテキストにおいたときの日本の図書館の特徴を文献購読によって明らかにする。

情報学特殊講義Ⅲ・Ⅳ

図書館・情報学の基本文献の講読。

情報学特殊講義演習Ⅰ・Ⅱ

修士論文指導。

情報メディア特殊講義Ⅰ

情報伝達に関わる多様な情報メディアのメディア特性、利用動向、社会的機能を検討。

情報メディア特殊講義Ⅱ

研究活動の特性と学術コミュニケーションに関わる多様な情報メディアを検討。

情報メディア特殊講義Ⅲ・Ⅳ

知識を社会的に配分することならびにアクセスを可能にする実践の理解、ならびに日常生活や仕事におけるひとつの情報実践の理解、それらを踏まえたサービスのデザインの手法。

情報メディア特殊講義演習Ⅰ・Ⅱ

修士論文指導。

情報検索特殊講義Ⅰ・Ⅱ

情報検索の高度化に結びつく基本的なアプローチ・理論・技術。

情報検索特殊講義Ⅲ・Ⅳ

情報と情報資源の組織化の理論と技術:メタデータの設計・作成・活用, 分類法と統制語彙/オントロジー, ウェブにおけるリンクトデータなど。

情報検索特殊講義演習Ⅰ・Ⅱ

修士論文指導。

調査研究法Ⅰ

図書館・情報学における研究課題の設定, 研究方法, 学術論文の書き方および成果の口頭発表法について, 講義と演習を通してその基本を理解し身につけることを目標とする。具体的な事例を題材にした演習課題に取り組み, その一連のステップをなぞることによって基本を理解し身につけることを意図する。

調査研究法Ⅱ

社会調査の基本と調査・統計データの分析(検定・回帰)について学ぶ。

情報分析論Ⅰ・Ⅱ

抄読会。

修士課程・後期博士課程

■ 修士課程:情報資源管理分野

情報資源管理特殊講義 I

各種図書館の国レベルの政策実態を取り上げて、その現状と課題を受講生の実務経験に照らしながら、具体的かつ実践的に検討する。

情報資源管理特殊講義 II

図書館の種類を限定することなく図書館経営上の諸問題を取り上げて、その解決に向けた方策を受講生の実務経験に照らしながら、具体的かつ実践的に検討する。

情報資源管理特殊講義 III

図書館評価の意義と方法を理解し実施計画を立てることができることを目標に、図書館評価について学び、課題として実際に図書館評価計画に取り組む。

情報資源管理特殊講義 IV

書物のデジタル化は 1990 年代後半に図書館の貴重書や特殊コレクションを対象に始まり、21 世紀になるとその対象や規模が急激に拡大してきた。この授業では、書物のデジタル化をめぐる最新の動向や関連技術をふまえ、資料保存、書物研究の新たな動向、教育や研究の支援とのかかわりについて、解説と受講生によるディスカッションを通じて検討する。

情報資源管理特殊講義 V・VI

図書館職を知識プロフェッションにとらえ、その資格と養成教育、雇用と研修、館種ごとの問題状況、隣接職種との関係、世界的な動向について検討する。

情報資源管理特殊講義 VII

図書館がウェブ上で利用者に向けて提供するサービスの内容及び提供方法の広がり、考慮すべき点、その評価。

情報資源管理特殊講義 VIII

レファレンス・サービスを中心とする利用者サービスの提供に必要な知識および課題について、演習・発表・議論による理解と検討。

情報資源管理特殊講義 IX・X

情報と情報資源の組織化を広範に取り上げる。図書館等における組織化を主対象にして、1)メタデータの設計・管理(情報資源の概念モデリングとその他のメタデータ設計プロセス)、2)メタデータ作成・提供の実態とそのシステム、3)主要標準(代表的な概念モデルやメタデータスキーマなど)、4)主題分析、統制語彙、分類法など、それぞれについて最新の状況を含めて取り上げる。

情報資源管理特殊講義 XI・XII

学術コミュニケーションのデジタル化とオープン化を踏まえ、受講生による発表とディスカッションを通して、学術コミュニケーションの現状の課題と将来を検討する。

情報資源管理特殊講義 XIII・XIV

図書館・情報学における研究課題の設定、研究方法、学術論文の書き方および成果の口頭発表法について、講義と演習を通してその基本を理解し身につけることを目標とする。具体的な事例を題材にした演習課題に取り組み、その一連のステップをなぞることによって基本を理解し身につけることを意図する。

情報資源管理特殊講義 XV・XVI

社会調査の基本と調査・統計データの分析(検定・回帰)について学ぶ。

情報資源管理特殊講義 XVII・XVIII

図書館業務に関連する最新の情報処理・ネットワーク技術について学ぶ。

情報資源管理特殊講義演習Ⅰ，Ⅱ

少人数の研究会で修士論文執筆指導を行う。

情報資源管理特殊講義演習Ⅲ，Ⅳ

毎回 3 人程度の受講生が図書館情報学分野の最新論文を読み、一定の形式にまとめて発表する。その後、専攻の全教員を含む出席者全員で当該論文に関するディスカッションを行う。

■ 後期博士課程

情報学特殊研究Ⅰ	情報学に関する研究指導。
情報学特殊研究Ⅱ	情報学に関する研究指導。
情報学特殊研究Ⅲ	抄読会。
情報学特殊研究Ⅳ	抄読会。
情報学特殊研究Ⅴ	情報学に関する研究指導。
情報学特殊研究Ⅵ	情報学に関する研究指導。
情報学特殊研究Ⅶ	抄読会。
情報学特殊研究Ⅷ	抄読会。
情報メディア特殊研究Ⅰ	情報メディアに関する研究指導。
情報メディア特殊研究Ⅱ	情報メディアに関する研究指導。
情報メディア特殊研究Ⅲ	情報メディアに関する研究指導。
情報メディア特殊研究Ⅳ	情報メディアに関する研究指導。
情報メディア特殊研究Ⅴ	情報メディアに関する研究指導。
情報メディア特殊研究Ⅵ	情報メディアに関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅰ	情報検索に関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅱ	情報検索に関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅲ	情報検索に関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅳ	情報検索に関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅴ	情報検索に関する研究指導。
情報検索特殊研究Ⅵ	情報検索に関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅰ	情報システムに関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅱ	情報システムに関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅲ	情報システムに関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅳ	情報システムに関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅴ	情報システムに関する研究指導。
情報システム特殊研究Ⅵ	情報システムに関する研究指導。

2022 年度修士論文題目

■ 図書館・情報学分野

執筆者氏名	指導教員	修士論文題目
吉田直輝	倉田	考古学分野における研究データの公開と再利用
巫静	倉田	COVID-19 パンデミック下の中国人留学生の情報行動

■ 情報資源管理分野

執筆者氏名	指導教員	修士論文題目
田野倉知士	岸田	日本の図書館情報学における多文化サービス理解の変遷:「教科書」の内容分析 に基づいて
佐藤 正恵	池谷	公共図書館と医療・福祉関係組織の連携による健康支援の展開可能性
谷一 文子	岸田	公共図書館が地域へ及ぼすインパクトの測定: 指定管理者制度で運営される大規模図書館への国際規格の適用

2022 年度博士論文題目

■ 課程博士

なし

■ 論文博士

なし

修士課程・後期博士課程

入学の方法

大学院修士課程と博士課程の入学試験の時期は次のとおりです。

課程	入試時期
修士課程	秋期(9月後半)および春期(2月下旬)
後期博士課程	2月下旬

■ 修士課程

大学院の修士課程入学試験は秋期と春期の2回行われます。例年、秋期への出願は7月後半に受け付け、9月後半に入学試験が行われます。春期は、1月前半に出願を受け付け、2月下旬から3月上旬に試験が実施されます。

□ 図書館・情報学分野

大学学部卒業(見込み)を出願資格とします。なお、司書資格の有無や卒業学部について、制約は一切ありません。

入試科目は、第一次試験は「専門科目(図書館・情報学)」、「英語」の2科目です。第二次試験は口頭試問です。

□ 情報資源管理分野

文学研究科修士課程出願資格および以下の1)2)の両方を満たす必要があります。

- 1) 大学卒業後3年以上であること
- 2) 図書館等における実務経験あるいは司書資格を有すること

入試科目は、第一次試験は専門科目(図書館・情報学)の1科目、第二次試験は口頭試問です。

⇒修士課程入学試験の詳細は下記の入学センターのページを参照して下さい。

<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/masters/gsl/>

■ 後期博士課程

大学院の博士課程の入学試験は春季のみです。出願は、毎年1月前半に受け付け、2月下旬から3月上旬に入学試験が行われます。大学院修士課程または専門職学位課程修了(見込み)を出願資格とします。入試科目は、第一次試験は専門科目(図書館・情報学)、「外国語」(英語)の2科目です。第二次試験は口頭試問です。

⇒後期博士課程入学試験の詳細は下記の入学センターのページを参照して下さい。

<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/doctoral/gsl/>

修士課程と博士課程入学試験の筆記試験の過去の試験問題は、以下の方法で閲覧できます。

- (1) 【公開中止中】三田キャンパス 南校舎 地下1階 三田学生部
閲覧時間:月～金(祝祭日を除く) 8:45～16:45

※開校記念日(4/23)・夏季休業・冬季休業・福澤先生誕生記念日(1/10)は閉室
※写真撮影(携帯電話を含む)や複写(手書きおよびパソコンやスマートフォンによる
入力を含む)はできません。

(2) ウェブでの閲覧(専門科目のみ)

修士課程: <https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/masters/past-exams/>

博士課程: <https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/doctoral/past-exams/>

図書館・情報学分野を受験する場合には、指導教授の選択が必要となりますので、できれば、あらかじめ本専攻の教員にご相談下さい。

■ 問い合わせ先

入学試験の詳細は以下の部署にお問い合わせ下さい。

修士・博士課程入学試験

三田学生部大学院入試担当

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

TEL: 03-5427-1067(直通)

e-mail: grad_admissions@info.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/other/contact/>

大学院修士課程外国人留学生試験

慶應義塾大学三田学生部大学院入試担当

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

TEL: 03-5427-1067(直通)

e-mail: grad_admissions@info.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/international-students/gsl/>

修士課程・後期博士課程

特別学生

正規の学生としてではなく、科目等履修生として、図書館・情報学専攻の科目を履修、または研究生として研究指導を受けることが可能です。

■ 大学院 科目等履修生

修士課程設置の科目の中で10単位(5科目)までの単位の修得を目的として履修する、科目等履修生を受入れることがあります。毎年、春学期は2月下旬～3月上旬に、秋学期は8月下旬～9月上旬に出願を受付けています。履修した科目の試験を受け、合格すれば単位と成績を習得することができます。

■ 大学院 研究生

大学院の修士課程を修了した者を、指導教授のもとで研究指導を受けることを目的とする、研究生として受け入れることがあります。指導教授に相談し、願書等を提出し、文学研究科の許可が得られれば研究生となることができます。春学期は2月下旬～3月上旬に、秋学期は8月下旬～9月上旬に受付けています。研究生の身分だけでは授業の履修、単位習得をすることはできません。

⇒科目等履修生と研究生については下記に問い合わせ下さい。

慶應義塾大学 学生部文学研究科係

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

TEL: 03-5427-1555(直通)

受付時間 月～金(祝祭日を除く) 8:45～16:45

※ただし開校記念日(4/23)・夏季休業・冬季休業・福澤先生誕生記念日(1/10)は閉室

<https://www.students.keio.ac.jp/com/other/non-degree/index.html>

■ 学部設置科目の履修

図書館・情報学専攻図書館・情報学分野への入学の際に司書資格等の資格を持っている必要はありません。しかし、大学院の授業では、図書館・情報学の体系的な基礎知識を有していることが必要とされます。そこで、第1学年のはじめに、各人のこれまでの科目修得状況を申告してもらい、認定することにしていきます。修得科目は、文学部図書館・情報学専攻第2学年に設置されている以下の科目を基本としています。

図書館基礎Ⅰ

図書館基礎Ⅱ

情報メディア基礎Ⅰ

情報メディア基礎Ⅱ

情報管理基礎Ⅰ

情報管理基礎Ⅱ

図書館・情報学文献研究Ⅰ

図書館・情報学文献研究Ⅱ

認定が受けられない場合には当該科目を履修することが義務づけられています。

また、図書館インターンシップ(図書館実習)未経験者は、学部に設置された「図書館実習」を履修し、夏休み中に2週間の図書館実習を行うことになっています。

奨学金

■ 各種奨学金

慶應義塾大学および大学院の奨学制度としては以下のものなどがあります。

- 慶應義塾大学給付奨学金(学部向け:給付:年額 50 万円)
- 小泉信三記念大学院特別奨学金(大学院向け:給付:月額 3 万円)
- 研究のすゝめ奨学金(大学院向け:給付:年額 30 万円)

⇒他にも企業、三田会などから多数の奨学金が用意されています。詳しくは下記に問い合わせてください。

慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
TEL: 03-5427-1570(直通)
<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/apply/form.html>

■ 厚生労働省教育訓練給付制度の指定講座(専門実践教育訓練指定講座)

情報資源管理分野は厚生労働省より、専門実践教育訓練指定講座として指名されました。この制度により、基本的には、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の 40%に相当する額が支給されます。詳細は、厚生労働省やハローワークのウェブサイトを参照してください。

■ ギトラー奨学金・小林奨学金

図書館・情報学専攻の学部学生、大学院図書館・情報学専攻の大学院生のための奨学金として、学科創設に尽力された故ロバート・L・ギトラー先生を記念した「ギトラー奨学金」と、故小林胖教授を記念した「小林奨学金」があります。「ギトラー奨学金」は学部4年生を対象として選考し、毎年1月に授与されます。「小林奨学金」は大学院修士課程修了者を対象として選考し、3月に授与されます。両賞の最近の受賞者は次の通りです。

年度	ギトラー奨学金	小林胖奨学金
1992年	廣橋公子, 小和瀬智章	榛田倫子, 野末道子, 中嶋間多
1993年	栗林美保子	村上篤太郎
1994年	石神まり, 山田浩大	大谷康晴
1995年	柏木美穂	廣田とし子
1996年	田口靖子	(該当者なし)
1997年	本島道也	金宣伶, 松林麻実子
1998年	鞠子裕子	高島寧
1999年	村上奈津子	(該当者なし)
2000年	神村昌代, 矢木みさき	富岡麻理
2001年	三根慎二, 渡邊春菜	塩崎亮
2002年	松田千春	(該当者なし)
2003年	宗愛子	三根慎二
2004年	鈴木泉	(該当者なし)

修士課程・後期博士課程

年度	ギター奨学金	小林胖奨学金
2005年	向當麻衣子	汐崎順子, 畠山珠美, 叶多泰彦
2006年	平野ゆかり	粟村倫久, 桑原芳哉
2007年	谷口朋, 猪鼻美帆	稲葉直也, 堤亮平, 宮田洋輔
2008年	唐澤智之, 二村麻美子	小泉公乃
2009年	寺田唯香	立石亜紀子, 新見槇子, 松本美智子
2010年	斉藤彩	樋澤光紀, 三村沙矢香, 向當麻衣子
2011年	南友紀子	郭ハナ, 杉内真理恵, 古橋英枝
2012年	石川翔子, 市川亜里沙	田中希実, 松谷有美子
2013年	丹生谷美貴	南友紀子
2014年	中川紗央里, 松崎美優, 松本ひかり	近藤久美子, 鴫田義晴
2015年	小紫友里奈, 佐藤康太, 丸山佳那子	岩瀬梓, 大越万里子, 大沢青加
2016年	馬越あゆみ, 鈴木汐里, 田中めい	太田潤, 長谷川敦史, 若宮俊
2017年	伊藤ゆめ奈	阿部恵子, 大久保歩, 吉澤小百合
2018年	田頭実桜, 一村美穂, 椿野祥子	山本通正, 小林美貴, 原修
2019年	若林優莉	門脇夏紀, 篠原弘照
2020年	竹内希実	広江理紗子
2021年	水谷文香	大江瞳, 紀平宏子, 原平充
2022年	小松玲衣	佐藤正恵

2023年度 図書館・情報学専攻 時間割

②2年生, ③3年生, ④4年生, M修士(図書館・情報学分野), I修士(情報資源管理分野), D博士課程, Oその他 通信通信教育

	1時間目(9:00~10:30)	2時間目(10:45~12:15)	3時間目(13:00~14:30)	4時間目(14:45~16:15)	5時間目(16:30~18:00)	6・7時間目・その他		
月 春	②[PC]情報管理基礎ⅡB ③図書館の制度と経営	谷口 松本 ③情報メディア概説 M情報検索特殊講義Ⅲ D情報システム特殊研究Ⅰ	倉田 谷口 安形 ②図書館・情報学文献研究ⅠA ②図書館・情報学文献研究ⅠC ③情報検索概説Ⅰ	宮田 安形 岸田 ②図書館・情報学文献研究ⅡB M情報分析論Ⅰ D情報学特殊研究Ⅲ O[PC]応用情報処理Ⅵ(ネットワーク)	須賀 安形・松本 安形・松本 安形輝 D情報メディア特殊研究Ⅴ O[研修]子どもの本と読書 Oデジタル書物学Ⅰ	池谷 汐崎 安形ほか I情報資源管理特殊講義演習ⅠE I情報資源管理特殊講義演習ⅠB I情報資源管理特殊講義演習ⅠA I情報資源管理特殊講義演習ⅠC I情報資源管理特殊講義演習ⅠD I情報資源管理特殊講義演習Ⅲ D情報学特殊研究Ⅶ D情報検索特殊研究Ⅲ D情報システム特殊研究Ⅲ D情報システム特殊研究Ⅴ D情報メディア特殊研究Ⅰ D情報メディア特殊研究Ⅲ	倉田 池谷 岸田 安形 谷口 松本 松本 岸田 谷口 安形 倉田 池谷	
秋	O人文学研究の方法論Ⅱ	安形ほか ③学術情報メディア論 M情報検索特殊講義Ⅳ D情報システム特殊研究Ⅱ	倉田 谷口 安形 ②図書館・情報学文献研究ⅡA ②図書館・情報学文献研究ⅡC ③データ解析論 O学校経営と学校図書館	宮田 安形 岸田 野口 ②図書館・情報学文献研究ⅡB M情報分析論Ⅱ D情報学特殊研究Ⅳ O学校図書館メディア論	須賀 安形・松本 安形・松本 野口 ②図書館基礎Ⅰ ③児童サービス論 D情報メディア特殊研究Ⅵ Oデジタル書物学Ⅱ	松本 汐崎 池谷 安形ほか I情報資源管理特殊講義演習ⅡE I情報資源管理特殊講義演習ⅡB I情報資源管理特殊講義演習ⅡA I情報資源管理特殊講義演習ⅡC I情報資源管理特殊講義演習ⅡD I情報資源管理特殊講義演習Ⅳ D情報学特殊研究ⅧⅢ D情報検索特殊研究Ⅳ D情報システム特殊研究Ⅳ D情報システム特殊研究Ⅵ D情報メディア特殊研究Ⅱ D情報メディア特殊研究Ⅳ	倉田 池谷 岸田 安形 谷口 松本 松本 岸田 谷口 安形 倉田 池谷	
火 春	②[PC]情報メディア基礎ⅡA ②[PC]情報管理基礎ⅡC ③[研修]情報サービス概説 O PC]基礎情報処理(M)	國本 岩瀬 小林・池谷 宮田 ③図書館・情報学研究調査入門 O[研修]読書教育論	岸田・安形 河西 M情報学特殊講義演習Ⅰ M情報検索特殊講義演習ⅠB M情報メディア特殊講義演習ⅠB M情報メディア特殊講義演習ⅠA M情報検索特殊講義演習ⅠA O[日吉]基礎情報処理(G)	安形 岸田 池谷 倉田 谷口 門脇	④図書館・情報学研究会Ⅰ(A) ④図書館・情報学研究会Ⅰ(B) ④図書館・情報学研究会Ⅰ(C) ④図書館・情報学研究会Ⅰ(D)	岸田 松本 池谷 安形		
秋	③[研修]公共図書館論	松本 O情報メディア利用論 O[PC]応用情報処理Ⅱ(Excel)	河西 門脇 ③[研修]学校図書館論 M情報学特殊講義演習Ⅱ M情報検索特殊講義演習ⅡB M情報メディア特殊講義演習ⅡB M情報メディア特殊講義演習ⅡA M情報検索特殊講義演習ⅡA	中山 安形 岸田 池谷 倉田 谷口 ③図書館・情報学研究法(A) ③図書館・情報学研究法(B) ③図書館・情報学研究法(C) ③図書館・情報学研究法(D)	安形 池谷 岸田 松本 ④図書館・情報学研究会Ⅱ(A) ④図書館・情報学研究会Ⅱ(B) ④図書館・情報学研究会Ⅱ(C) ④図書館・情報学研究会Ⅱ(D)	岸田 松本 池谷 安形		
水 春	②[PC]情報メディア基礎ⅡB ②[PC]情報管理基礎ⅡA ③情報資源組織論 M情報学特殊講義Ⅲ O[日吉]基礎情報処理(C)	上岡 宮田 谷口 安形 福島 ③[研修]書誌学Ⅰ(東洋) M情報メディア特殊講義Ⅰ D情報検索特殊研究Ⅴ O[PC]応用情報処理Ⅰ(テキスト処理) O[日吉]基礎情報処理(D)	一戸 倉田 岸田 中島 福島 ③[研修]書誌学Ⅱ(西洋) M情報メディア特殊講義Ⅱ D情報検索特殊研究Ⅵ O[日吉]基礎情報処理(H)	岸田 ③情報処理技術		②[研修]図書館基礎Ⅱ	福島	
秋	②情報管理基礎Ⅰ M情報学特殊講義Ⅳ O[日吉]レポートの書き方	岸田 安形 福島・酒井 ③[研修]書誌学Ⅱ(西洋) M情報メディア特殊講義Ⅱ D情報検索特殊研究Ⅵ O[日吉]基礎情報処理(H)	安形 倉田 岸田 福島 O[研修]文献学の世界 ③[PC]データベース論	安形 谷口 高橋 福島 O情報と職業 O[研修]応用情報処理Ⅲ(情報社会の光と影)	福島 ③[研修]デジタルアーカイブ論	福島		
木 春	②[PC]情報メディア基礎ⅡC ③図書館実習Ⅰ D情報学特殊研究Ⅰ O[日吉]特論Ⅰ(総合教育) O[PC]応用情報処理Ⅳ(情報技術)	池谷 松本・宮田 倉田 安形 森山 O[日吉]基礎情報処理(F)	西川 ③[研修]印刷メディア M情報検索特殊講義Ⅰ	安形 岸田 ③[研修]社会情報論	池谷 M情報メディア特殊講義Ⅲ D情報検索特殊研究Ⅰ O基礎情報処理(B)	池谷 谷口 濱 I情報資源管理特殊講義Ⅸ I・M情報資源管理特殊講義Ⅹ/調査研究法Ⅱ	谷口 池内	
秋	③図書館実習Ⅱ D情報学特殊研究Ⅱ	松本・宮田 倉田 ③情報認識の基礎 O[PC]応用情報処理Ⅴ(Java) O[日吉]特論Ⅱ(総合教育)	松林 門脇 谷口 M情報検索特殊講義Ⅱ	岸田 ③[研修]情報行動	池谷 M情報メディア特殊講義Ⅳ D情報検索特殊研究Ⅱ	池谷 谷口 I情報資源管理特殊講義Ⅰ I情報資源管理特殊講義Ⅲ	松本 岸田	
金 春	③図書館・情報学概説 倉田・谷口・岸田・池谷・安形・松本・宮田・福島	③ウェブ情報論	神崎 O学習指導と学校図書館 O[日吉]基礎情報処理(E)	鎌田 江藤 O[日吉]基礎情報処理(A)	藤巻			
秋	②情報メディア基礎Ⅰ	安形 ③大学図書館論	小山					
土 春				I情報資源管理特殊講義Ⅴ	安形	I・M情報資源管理特殊講義ⅩⅢ/調査研究法Ⅰ	岸田	
秋				I情報資源管理特殊講義Ⅺ	倉田	I情報資源管理特殊講義Ⅶ 通常授業期間外 I情報資源管理特殊講義ⅩⅦ[集中] 通信夏期(日吉):図書館・情報学 通信夏期(三田):図書館・情報学	安形輝 谷口 中島	

要覧 2023年版

2023年9月25日発行

編集・発行 慶應義塾大学文学部人文社会学科 図書館・情報学系 図書館・情報学専攻
慶應義塾大学大学院 文学研究科 図書館・情報学専攻
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

e-mail slis-info@ml.keio.jp

<http://web.flet.keio.ac.jp/slis/>

**School of Library and Information
Science
Keio University**

**e-mail: slis-info@ml.keio.jp
<http://web.flet.keio.ac.jp/slis/>**